

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	自主夜間中学校の設立			
2 事業期間	2024年6月～2025年2月			
3 事業内容	具体的な内容（いつどこで何を実施したか等） 【自主夜間中学校の設立】 不登校の生徒の学習支援・生活支援を目的に自主夜間中学校を設立 実施期間：6月～R7年2月 対象者：不登校の中学生 日時：毎週火曜日・水曜日・木曜日 17：30～20：00（月8日実施）※10月から水曜日も開催 場所：そてつの会3階 4月：自主夜間中学を設立（4月開校の時点で0人であった。） 講師は3名（元教員）で、9月までは個別指導ができるように火・木の5時30分から8時まで。 6月：通学生徒3名（新聞社より取材を受け新聞記事に掲載後、少しずつ人数が増えていった。） 7月：通学生徒4名 8月：通学生徒5名 9月：通学生徒7名 10月：通学生徒8名 調理実習（ひらやーちー作り）7名参加 10月から水曜日も英語の指導を中心に開設 11月：通学生徒9名 12月：通学生徒9名 誕生日会7名参加 R7年1月：通学生徒10名 誕生日会4名参加 R7年2月：通学生徒10名			
4 達成目標と達成度	達成目標（事業計画書と連携させる）	目標数値	実績値	達成度（%）
	・夜間中学校授業実施 ・パンフレット、チラシ作成 ・調理実習の実施	年72日 各1,000枚 年2回	年79日 0枚 年1回	100% 0% 50%

	結果に至る理由、気づき、検証等 ・授業実施は達成できた。 ・現在、県に NPO 法人設立申請中である。そのため、チラシ、パンフレットについては、法人名での作成ができず、NPO 法人として認定された後の 3 月に作成した方がよいと考えており、未達成となっている。 ・調理実習年 2 回の実施については、1 回はできたが、2 回目はまだ生徒の出席が揃うタイミングが見つけられない。多くの生徒に参加してもらいたい、5 名以上揃うことが難しい状況である。3 月までには実施したい。
5 事業の成果	事業を実施したことで得られた結果 ・対象者に及ぼした影響 ・不登校の生徒が夜間中学校に通学するようになり、一度も顔を会わせてくれなかった担任の先生とも対面することができるようになった。 ・個人差が大きく、例えば騒音を苦手とする生徒がいれば、にぎやかなところで学習するのがいいという生徒もいる。医師から適応障害と診断された生徒や起立性調節障害と診断された生徒、また、発達障がい、家庭の不和等様々な事情で不登校になった生徒もあり、個々に応じた学習を試みているところであるが、まだ良い方法は見つかってない。今のところ、夜間中学の存在が生徒にどのような影響を与えたかはわからない状況である。 連携機関、協力者に及ぼした影響 ・不登校の児童生徒のいる学校の校長先生や担任に会って、状況を説明し、子ども達の状況を理解してもらうことが出来た。担任が一度も会ったことのない生徒も、夜間中学に通うようになってから、家庭訪問でドアを開けてくれ、会うことが出来たという学校の報告があった。 ・ゴージャス理恵（女性を元気にする会）さんから、ある理由で学校に通えなくなり、ひきこもり状態だった中学生を紹介され、夜間中学で受け入れた。徐々に通うようになり少し改善がみられた。 ・那覇市の寄り添い支援員（那覇市教育相談課）の人達も 11 名、見学に来て連携がとりやすくなった。また、寄り添い支援員からの不登校の生徒の紹介が増えた。

5 事業の成果	地域、コミュニティに及ぼした影響 ・隣の中学校の校内の夏期研修の一環で、夜間中学の見学や取り組みの説明をする機会が出来た。																																				
6 次年度以降の展開	(ビジョンを見据えたうえで次年度以降に予定している展開) ・次年度も継続していきたい。 ・カリキュラムの作成をし、計画的な学習指導ができるようにしたい。 ・定員を少なくして、本人のために個別指導がうまくできるようにしていきたい。 ・公認カウンセラーがいるので、もっと活用して心のケアもしていきたい。																																				
7 実施した事業全体への自己評価とその理由	①自己評価(5段階評価) 当てはまるところに○をつけてください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>とても良かった 5</th> <th>良かった 4</th> <th>まあまあ良かった 3</th> <th>少し良かった 2</th> <th>全く良くなかった 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 課題設定は良かったか</td> <td></td> <td></td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 解決策として良い手法だったか</td> <td></td> <td></td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 自団体の実施体制は良かったか</td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 他団体との協働体制は良かったか</td> <td></td> <td></td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 対象者への周知は良かったか</td> <td></td> <td></td> <td>☒</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		とても良かった 5	良かった 4	まあまあ良かった 3	少し良かった 2	全く良くなかった 1	1 課題設定は良かったか			☒			2 解決策として良い手法だったか			☒			3 自団体の実施体制は良かったか	☒					4 他団体との協働体制は良かったか			☒			5 対象者への周知は良かったか			☒		
	とても良かった 5	良かった 4	まあまあ良かった 3	少し良かった 2	全く良くなかった 1																																
1 課題設定は良かったか			☒																																		
2 解決策として良い手法だったか			☒																																		
3 自団体の実施体制は良かったか	☒																																				
4 他団体との協働体制は良かったか			☒																																		
5 対象者への周知は良かったか			☒																																		

7 実施した事業全体への自己評価とその理由	②上記の結果となった理由について ・夜間中学を設立したことは、大変良かった。 ・夜間中学を不登校の生徒に絞ったのがいいのか、わからない。3人の講師が夜間中学を担当したが、生徒達の状況が思った以上に厳しく、保護者にカウンセリングを受けてもらったり、面談を何回もしたりといろいろな取り組みをしたが、肝心の生徒が休んだりして困った。 ・夜間中学に通う生徒の所属している各学校に出向いて、出席状況や学習の様子、家庭の様子等の情報共有をしたが、まだ夜間中学の必要性が十分伝わったとは言えない。ただ、指導する側も相当の苦労があり難しい事業であることが分かった。 ・他団体との協働もどの団体とすればよいか、どの範囲まで連携をとればよいかわからなかった。理由は、連携を取り人数が増えた場合に問題があることが分かった。それは、在籍が5名ぐらいになると個別の対応が難しくなり、受け入れる人数を増やしてよいのか迷うことがあった。他の団体をお願いできることが何なのかまだ、掴めてない。
8 市への要望・欲しい支援等	なは市民活動支援事業に係る下記の項目に対して (①事業説明会 ②個別相談✓ ③募集期間 ④広報支援 ⑤オープンデータ等) ・夜間中学の設立は行政が主導してもらいたいと思った。理由は、その重要性や必要性は、もっと行政が理解してもらいたい。 ・この事業は別の枠の支援が必要ではないかと感じた。